



研 修 報 告 書

(秋田県社会福祉士会)

研 修 名	平成 30 年度 小さな勉強会 in 中央
日 時	平成 30 年 6 月 23 日 (土) 14:00～16:30
会 場	秋田県生涯学習センター4階 第1研修室 (秋田市)
参加者数	22 名 (実践報告者 3 名・受講者 19 名)
内 容	<p>【目 的】 各分野に所属する社会福祉士の実践報告やグループワークを通じて日々の実践を振り返るとともに、相談援助技術に求められる技量や専門職としての価値観を探求する。</p> <p>【内 容】 テーマ：社会福祉士の相談援助技術～伝える力を高めよう～</p> <p>① 会員からの実践報告 報告者：東通地域包括支援センターひだまり 布谷 沙弥香 氏 就労支援事業所やわらぎ 齋藤 一輝 氏 鳥寿苑居宅介護支援事業所 武田 貴康 氏</p> <p>② グループワーク 「相談援助技術～伝える力を高めるために必要なもの～」</p> <p>【報 告】 実践報告では相談者への伝え方の工夫（伝達手段や伝達内容、伝えるタイミング）によって相談者との信頼関係を構築した事例が報告され、相談者に合わせた伝え方の工夫が重要であることを再認識させられた。加えて相談者にとってより良い「伝え方」を選択するためにもアセスメントの果たす役割が大きいことも学ぶことが出来た。 グループワークでは分野は異なっても相談支援専門職としての価値観に大きな差はないこと、私たちの説明責任の重要性を感じさせられた。 相談援助技術という基本的なテーマではあったが、実践場面から学ぶことも多く、新たな発見や気づきに出会え、充実した研修会となったと思う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
所 管	青年部会「わか」